

文学作品から読み解く女性史

- 小説「フランケンシュタイン」を題材に - 全5回



あらすじ

11月の雨がわびしく降る夜に、若き天才科学者フランケンシュタインは、墓場から掘り出した人間の死体をつなぎ合わせて、恐ろしい怪物を誕生させてしまった。恐ろしさのあまり怪物から逃げ出すが、怪物の申し出に応えて、ある駆け引きをするのだが。

原題 'Frankenstein; Or the Modern Prometheus'

回	日 時	テーマと内容	講 師
1	11月 1日(木) 19:00 ~ 20:30	はじめに: ペンを持った女たち - 女性作家とゴシック文学 18世紀末に英国を中心に流行した恐怖小説。女性作家と作品の系譜をフェミニズム文学批評の観点から概説するとともに、当時の女性が置かれた社会的状況についてお話しします。	もりおか女性センター職員
2	11月 8日(木) 19:00 ~ 20:30	「近代」の光と影 18世紀と女性の人権思想 - 作者メアリー・シェリーが生きた時代 フランス革命がもたらした人間平等という光は女性にどのような影響を与えたか? 革命の光を浴びた作者によって執筆された小説「フランケンシュタイン」を読み解きます。	 菊地良夫さん (1942生。岩手大学特任教授。フランス文学、テキスト分析論等担当。趣味は汗を流すこと。)2,3,4回担当
3	11月15日(木) 19:00 ~ 20:30	科学と生命操作の時代 神から科学(的人間)へ - 恐怖(「怪物」)をつくる科学者 近代の光(例:産業革命)がなぜ「恐怖」と結びつくのか。当時の世相を手がかりに、作者が男性科学者と恐怖=怪物(人造人間)に込めたテキストを分析します。	
4	11月22日(木) 19:00 ~ 20:30	科学と生命操作の時代 科学と倫理 - 創造主に反逆する「怪物」 矛盾する being と doing 科学の力で生命を得た怪物は、創造主の科学者に疎まれ、拒絶されたことから復讐を始めます。怪物の反逆を読み解きながら、科学信仰と女性の権利(生命倫理)の問題を考えます。	
5	11月29日(木) 19:00 ~ 20:30	まとめ&座談 生殖技術をめぐる現代の課題 フランケンシュタインが世に出て200年余り。代理母、デザイナー・ベビーなど生殖テクノロジーは現実になりました。科学と女性の身体をめぐる課題を話し合います。	もりおか女性センター職員

一八八八年イギリス。十九歳の女性が出版した一冊の小説は女性の歴史や現代社会の課題を学ぶヒントがいっぱい! あなたの知らないフランケンシュタインを女性センターで再発見!

講 師 菊地良夫さん(岩手大学特任教授) & もりおか女性センター職員

会 場 もりおか女性センター別館(第2講習室)

受 講 料 無料

託 児 有料(2歳から就学前の子ども1人1回につき500円)先着5名

対象・定員 20名(どなたでも)

申込方法 10月18日(木)10時から先着順に電話で受け付けます。

小説を読んだことがない方でもご参加いただける講座ですが、興味のある方は以下をご参考ください。
小説『フランケンシュタイン』(2003) 創元推理文庫
映画『フランケンシュタイン』(1994) アメリカ

講義はパワーポイントやビデオなどを使いながら行います。



問い合わせ・申し込み先 もりおか女性センター別館 電話(019)624-3583

〒020-0878 盛岡市肴町2-8 ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

もりおか女性センター指定管理者 特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて 開館時間 平日 9:00~21:00(土日祝をのぞく)

専用の駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。